

第15期 第3四半期報告書

(平成21年1月1日から平成21年3月31日まで)



平成21年5月13日

株式会社 旅籠屋

会社名 (定款上の商号)	株式会社 旅籠屋
英文名 (英文商号)	Hatagoya & Company
コード番号	4807
代表者の役職氏名	代表取締役社長 甲斐 真
本店の所在の場所	東京都台東区寿3丁目3番4号
電話番号	03-3847-8858
連絡者	代表取締役社長 甲斐 真

I 当期の業績

(1) 損益計算書 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	前年度	当年度	当年度	当年度	当年度	前年同期比	前年度
		第3四半期 H20.1.1~ H20.3.31	第4四半期 H20.4.1~ H20.6.30	第1四半期 H20.7.1~ H20.9.30	第2四半期 H20.10.1~ H20.12.31	第3四半期 H21.1.1~ H21.3.31	累計 H20.7.1~ H21.3.31		前年度 同期累計 H19.7.1~ H20.3.31
I 営業収益	売上高	127,896	116,916	227,595	156,444	143,678	527,717	+28.7%	409,928
II 営業費用	売上原価	110,989	126,184	156,628	151,927	148,401	456,957	+43.4%	318,908
	(注1)販売費及び一般管理費	14,854	18,859	19,745	19,644	18,657	58,047	+28.2%	45,286
	営業利益または営業損失(▲)	2,051	▲28,126	51,221	▲15,127	▲23,380	12,713	▲72.2%	45,731
III 営業外収益		22	98	179	258	40	479	+420.7%	92
IV 営業外費用		843	755	1,071	1,222	2,357	4,652	+170.0%	1,723
	経常利益または経常損失(▲)	1,229	▲28,783	50,330	▲16,091	▲25,698	8,540	▲80.6%	44,100
V 特別利益		—	—	—	—	—	—	—	—
VI 特別損失		—	—	—	—	—	—	—	—
	税引前四半期(当期)純利益 または純損失(▲)	1,229	▲28,783	50,330	▲16,091	▲25,698	8,540	▲80.6%	44,100
	法人税、住民税	1,284	1,585	1,278	1,278	1,298	3,855	+22.3%	3,152
	四半期(当期)純利益 または純損失(▲)	▲54	▲30,368	49,051	▲17,369	▲26,996	4,685	▲88.6%	40,947
	期中平均株式数	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	—	6,245 株
	1株当たり四半期(当期)純利益 または純損失(▲)	▲9 円	▲4,863 円	7,855 円	▲2,781 円	▲4,322 円	750 円	▲5,807 円	6,557 円
	(注1)潜在株式調整後1株当 たり四半期(当期)純利益	—	—	7,155 円	—	—	685 円	▲5,111 円	5,796 円

(注1) 最終損益が損失となる期間については記載を省略しております。

(2) 貸借対照表 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期別	前年度	前年度	当年度	当年度	当年度	
		第3四半期末 H20.3.31	第4四半期末 H20.6.30	第1四半期末 H20.9.30	第2四半期末 H20.12.31	第3四半期末 H21.3.31	
(資産の部)	I 流動資産	現金預金	62,141	43,989	87,847	163,932	155,079
		その他	39,136	26,115	29,075	29,214	32,084
		流動資産合計	101,278	70,105	116,923	193,146	187,164
	II 固定資産	有形固定資産	288,199	302,520	309,642	307,034	305,986
		無形固定資産	2,088	3,532	3,317	3,107	2,900
		投資その他の資産	94,391	93,653	95,360	99,048	103,471
	固定資産合計	384,679	399,706	408,320	409,190	412,359	
	資産合計	485,957	469,811	525,243	602,337	599,524	
(負債の部)	I 流動負債	41,048	71,307	71,771	116,168	110,986	
	II 固定負債	129,865	113,829	119,745	169,811	199,177	
	負債合計	170,913	185,136	191,516	285,979	310,163	
(純資産の部)	I 株主資本	資本金	331,000	331,000	331,000	331,000	331,000
		資本剰余金 資本準備金	68,916	68,916	68,916	68,916	68,916
		利益剰余金 繰越利益剰余金	▲85,372	▲115,740	▲66,689	▲84,058	▲111,055
		株主資本合計	314,543	284,175	333,227	315,857	288,861
	II 新株予約権	新株引受権	500	500	500	500	500
		純資産合計	315,043	284,675	333,727	316,357	289,361
	負債・純資産合計	485,957	469,811	525,243	602,337	599,524	
	発行済株式総数	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	6,245 株	
	1株当たり純資産	50,367 円	45,504 円	53,359 円	50,578 円	46,254 円	

(3) 株主資本等変動計算書 (平成 20 年 7 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日、単位：千円、千円未満は切り捨てて表示)

項目	株主資本				新株予約権	純資産 合計
	資本金	資本剰余金 資本準備金	利益剰余金 その他利益剰余金	株主資本 合計	新株引受権	
平成 20 年 6 月 30 日残高	331,000	68,916	▲115,740	284,175	500	284,675
第 1 四半期中の変動額 四半期純利益			+49,051	+49,051		
第 1 四半期中の変動額の合計			+49,051	+49,051		+49,051
平成 20 年 9 月 30 日残高	331,000	68,916	▲66,689	333,227	500	333,727
第 2 四半期中の変動額 四半期純利益			▲17,369	▲17,369		
第 2 四半期中の変動額の合計			▲17,369	▲17,369		▲17,369
平成 20 年 12 月 31 日残高	331,000	68,916	▲84,058	315,857	500	316,357
第 3 四半期中の変動額 四半期純利益			▲26,996	▲26,996		
第 3 四半期中の変動額の合計			▲26,996	▲26,996		▲26,996
平成 21 年 3 月 31 日残高	331,000	68,916	▲111,055	288,861	500	289,361

(4) 貸借対照表および損益計算書の作成の基本となる事項

四半期の貸借対照表および損益計算書の作成の基礎としている会計処理の原則および手続は、下記事項を除き正規の決算において採用している基準と同一のものを適用しております。正規の決算において採用している重要な会計方針等は「会社内容説明書 第5経理の状況 (4) 個別注記表 ①重要な会計方針に係る事項に関する注記」をご参照ください。事業年度の貸借対照表および損益計算書の作成のために採用している会計処理の原則および手続と異なる会計処理の基準は次のとおりです。

- 固定資産の減価償却の方法 各四半期の減価償却費は年間償却見積額の4分の1相当額を計上しています。
- 経過勘定項目 未収収益、未払費用等の経過勘定項目のうち、重要性の低い項目は、資産および負債に計上せず期間収益または期間費用として処理しています。
- 税金の計上基準 法人税、住民税および事業税の年間見積り額の4分の1相当額を計上しています。
- 消費税等の会計処理 仮払消費税等および仮受消費税等は、相殺のうえ、差額を流動資産または流動負債として計上しています。

なお、当該四半期の貸借対照表、損益計算書および株主資本等変動計算書については、監査法人の監査を受けておりません。

(5) 重要な会計方針

1. 固定資産の減価償却の方法
 - (1) 有形固定資産 定額法を採用しています。なお、主な耐用年数は以下のとおりです。
建物:17～18年、構築物:15～20年、車両運搬具:4～6年、工具器具備品:3～8年
 - (2) 無形固定資産 定額法を採用しています。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法を採用しています。
均等償却によっています。
 - (3) 長期前払費用 定額法を採用しています。
2. リース取引の処理方法 リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。
3. 消費税等の会計処理 消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

(6) 会計方針の変更

1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法 「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計委員会 平成 18 年 7 月 5 日 企業会計基準第 9 号)を当第 1 四半期から適用し、評価基準については、原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に変更しております。なお、この会計方法の変更による損益への影響はありません。

Ⅱ 第15期（平成20年7月1日～平成21年3月31日）の業績の概況

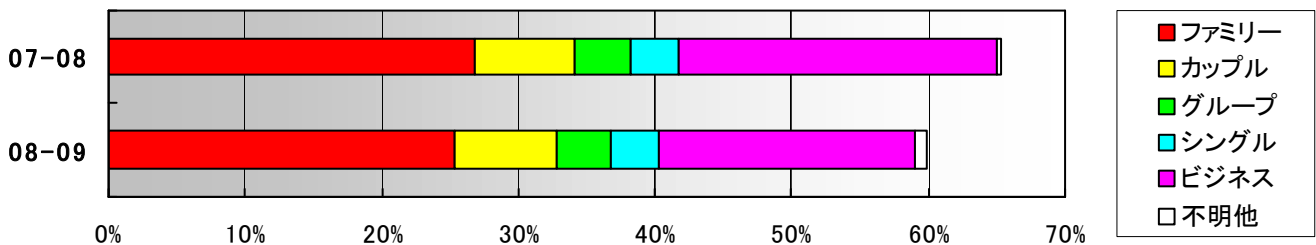
部門別内訳

（単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております）（※）運営受託店のため、宿泊営業売上高ではなく運営受託料です。

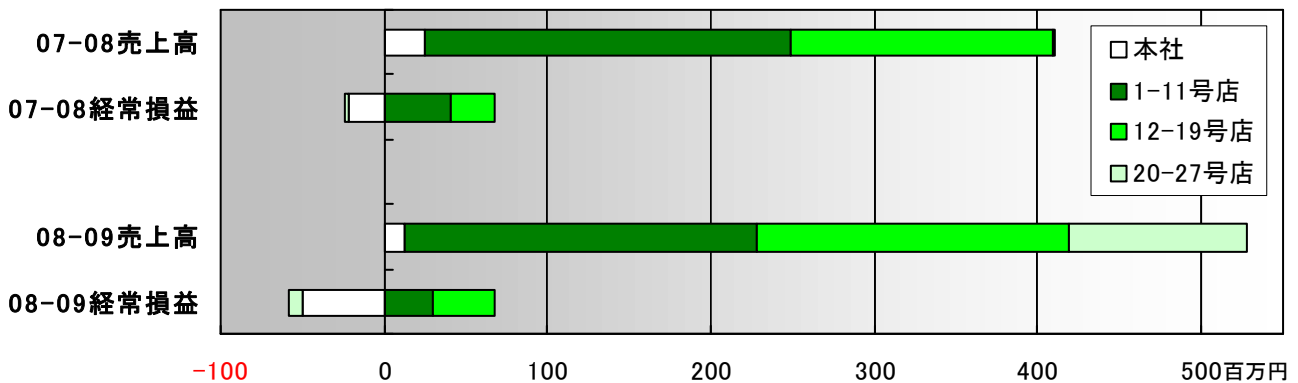
科目	期別	前年度	前年度	当年度	当年度	当年度	当年度	前年同期比	前年度
		第3四半期 H20.1.1～ H20.3.31	第4四半期 H20.4.1～ H20.6.30	第1四半期 H20.7.1～ H20.9.30	第2四半期 H20.10.1～ H20.12.31	第3四半期 H21.1.1～ H21.3.31	累計 H20.7.1～ H21.3.31		累計 H19.7.1～ H20.3.31
本社	売上高 経常損益	15,829 485	524 ▲18,798	3,475 ▲16,983	3,023 ▲17,413	5,912 ▲14,906	12,411 ▲49,302	▲49.5% -	24,590 ▲21,743
01 日光鬼怒川店 1995.8 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	7,738 751 42.0%	6,401 ▲673 43.6%	12,463 4,199 58.9%	9,590 1,577 62.7%	7,051 230 49.7%	29,105 6,007 57.1%	▲0.8% ▲7.9% +0.4 p	29,342 6,526 56.7%
02 那須店 2000.4 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	5,422 280 51.8%	5,546 339 54.6%	10,924 5,016 81.3%	6,650 1,099 63.5%	5,179 412 50.0%	22,754 6,527 65.1%	+7.3% +28.9% +4.8p	21,200 5,064 60.3%
03 秋田六郷店 2001.6 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	2,259 ▲1,941 29.9%	2,859 ▲1,745 34.2%	4,782 ▲175 49.3%	2,912 ▲1,437 40.1%	1,741 ▲2,254 21.9%	9,436 ▲3,868 37.2%	▲21.0% - ▲9.1p	11,945 ▲1,315 46.3%
04 山中湖店 2001.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	7,202 473 66.7%	7,128 364 62.3%	12,512 5,204 80.8%	8,115 1,595 67.3%	6,681 57 58.7%	27,309 6,857 69.0%	▲3.5% ▲16.0% ▲6.0 p	28,291 8,167 75.0%
05 沼田店 2001.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	8,231 2,071 88.2%	6,047 358 79.9%	8,330 2,489 86.3%	6,770 803 87.0%	7,934 1,715 82.7%	23,034 5,008 85.4%	▲0.6% ▲10.4% +1.3p	23,168 5,587 84.1%
06 水戸大洗店 2001.10 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	6,005 522 69.7%	5,413 ▲52 60.0%	9,540 3,140 79.4%	5,294 51 57.2%	4,792 ▲741 51.1%	19,627 2,451 62.7%	▲6.9% ▲39.9% ▲8.0p	21,084 4,079 70.7%
07 北上店 2002.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	3,923 ▲1,322 51.9%	4,444 ▲920 64.3%	6,998 1,298 73.6%	3,457 ▲1,689 42.7%	2,315 ▲2,514 27.5%	12,760 ▲2,905 48.1%	▲15.7% - ▲9.3p	15,136 ▲36 57.4%
08 仙台亘理店 2004.4 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	3,850 ▲1,390 47.6%	4,132 ▲1,456 47.1%	6,999 959 60.0%	5,055 ▲290 55.4%	4,154 ▲1,087 47.8%	16,209 ▲419 54.4%	▲7.9% - ▲8.9 p	17,590 788 63.3%
09 小淵沢店 2004.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	6,536 445 82.4%	6,678 891 83.8%	10,068 3,634 88.8%	6,596 453 77.5%	6,046 120 76.4%	22,710 4,208 80.9%	▲1.9% ▲14.6% ▲2.2 p	23,150 4,926 83.1%
10 前橋南店 2005.7 開業	(※)売上高 経常損益 客室稼働率	3,769 225 74.5%	3,274 ▲292 66.8%	5,100 1,621 76.6%	3,231 ▲275 69.0%	3,652 378 76.8%	11,984 1,724 74.1%	+4.7% +0.2% +4.2p	11,443 1,721 69.9%
11 九十九里店 2005.12 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	6,235 953 81.1%	5,437 341 74.6%	9,210 3,608 81.5%	5,701 486 71.6%	5,662 434 74.7%	20,573 4,529 76.0%	▲4.5% ▲14.9% ▲5.7p	21,541 5,322 81.7%
12 東京新木場店 2006.3 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	20,842 5,503 84.6%	18,392 2,647 76.8%	24,170 9,174 86.6%	21,694 6,150 85.2%	19,809 3,448 77.7%	65,674 18,773 83.2%	▲4.6% ▲12.3% ▲5.7p	68,813 21,404 88.9%
13 千葉勝浦店 2007.3 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	7,244 1,562 87.4%	6,087 442 74.5%	9,996 4,061 85.2%	6,680 923 83.2%	6,888 1,216 82.2%	23,565 6,201 83.5%	+4.0% +4.4% +4.3p	22,655 5,938 79.2%
14 軽井沢店 2007.4 開業	(※)売上高 経常損益 客室稼働率	1,942 ▲1,190 41.0%	1,882 ▲1,642 45.1%	8,352 4,579 81.2%	5,194 1,096 79.0%	2,816 ▲159 51.0%	16,364 5,516 70.6%	+32.3% +211.1% +14.3p	12,369 1,773 56.3%
15 須賀川店 2007.4 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	4,134 ▲767 47.9%	4,393 ▲634 53.3%	6,923 1,682 68.9%	3,909 ▲1,164 41.5%	3,991 ▲851 45.8%	14,824 ▲333 52.1%	▲3.0% - ▲0.1p	15,288 900 52.2%
16 いわき勿来店 2007.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	5,726 192 58.9%	5,491 45 58.2%	10,919 4,750 72.7%	6,766 1,140 69.2%	6,254 550 63.2%	23,939 6,441 68.4%	+18.8% +30.1% +9.9p	20,155 4,951 58.5%
17 牧之原店 2007.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	3,966 ▲790 44.4%	4,466 ▲91 55.9%	6,665 1,255 55.3%	3,876 ▲1,174 43.7%	4,332 ▲562 49.7%	14,873 ▲481 49.5%	+28.4% - +11.0p	11,582 ▲1,525 38.5%
18 金沢内灘店 2007.10 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	2,278 ▲2,540 24.3%	2,697 ▲2,254 26.6%	7,032 1,634 53.9%	3,710 ▲1,323 38.0%	2,659 ▲2,038 27.5%	13,402 ▲1,727 39.9%	+164.2% - -	5,073 ▲4,835 28.6%
19 韭崎店 2007.12 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	4,091 ▲405 52.4%	5,277 882 67.6%	7,846 2,495 72.8%	5,576 380 72.7%	4,690 ▲257 60.7%	18,113 2,618 68.8%	+274.5% - +16.9p	4,836 ▲1,358 51.9%
20 土岐店 2008.3 開業	経常損益 客室稼働率	665 ▲500 34.3%	2,623 ▲1,369 26.8%	5,844 590 51.5%	3,917 ▲1,302 36.4%	3,580 ▲1,409 34.8%	13,342 ▲2,121 41.0%	+1906.3% - +6.7p	665 ▲763 34.3%
21 伊賀店 2008.4 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	- ▲262 -	2,615 ▲1,042 29.1%	7,307 2,351 64.0%	5,085 ▲471 49.5%	3,605 ▲1,282 33.4%	15,999 597 49.1%	- - -	- ▲285 -

22 壇之浦 PA 店 2008.4 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	- ▲861	4,838 ▲1,548	8,502 2,288	6,196 ▲260	5,912 76	20,612 2,103	- -	- ▲922
23 松阪東店 2008.6 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	- ▲63	262 ▲1,320	5,501 1,257	3,546 ▲1,273	3,684 ▲1,035	12,731 ▲1,050	- -	- ▲63
24 浜名湖店 2008.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	- ▲59	- ▲444	6,548 1,892	4,356 ▲1,552	4,913 ▲1,234	15,818 ▲894	- -	- ▲59
25 佐野 SA 店 2008.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	- ▲59	- ▲469	6,355 ▲659	6,160 ▲259	6,078 37	18,593 ▲881	- -	- ▲59
27 新潟南店 2008.7 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	- ▲84	- ▲338	5,231 ▲970	3,372 ▲1,956	2,158 ▲2,578	10,762 ▲5,505	- -	- ▲84
28 奈良針店 2009.3 開業	売上高 経常損益 客室稼働率	- -	- -	- ▲68	- ▲4	1,177 ▲992	1,177 ▲1,065	- -	- -
彦根店	経常損益	-	-	-	-	▲305	▲305	-	-
桑名長島店	経常損益	-	-	-	-	▲79	▲79	-	-
寒河江店	経常損益	-	-	-	-	▲85	▲85	-	-
全社合計	売上高 経常損益 客室稼働率	127,896 1,229	116,916 ▲28,783	227,595 50,330	156,444 ▲16,091	143,678 ▲25,698	527,717 8,540	+28.7% ▲81.3%	409,928 44,100
		60.6%	56.5%	68.7%	58.4%	52.4%	59.8%	▲5.5p	65.3%

客室稼働率(全店通算、構成内訳別)の推移 (平成20年7月1日～平成21年3月31日)



売上高・経常損益(全社合計、出店時期別)の推移 (平成20年7月1日～平成21年3月31日)



前年同期に比べ、売上高は増加(+28.7%)しましたが、経常利益は大幅に減少(▲80.6%)しました。

主な要因は、店舗の客室稼働率の低下、売上原価率のアップ、本社損失の拡大の3点です。

1. 店舗の客室稼働率の低下について

全店通算で、客室稼働率が低下(65.3→59.8%)しましたが、オープンから満1年以上経過した店舗(1-19号店)に限れば横ばい(65.4→65.2%、売上高では+5.6%)であり、1年未満の店舗(20-27号店)の伸び悩み(45.3%)が足を引っ張っている状況です。一般的に新規店舗の稼働率は開業から一定期間をかけて漸増していく傾向にあることから、これは出店ペースのアップによる過渡的な現象といえます。

ただし、オープンから満3年以上経過した店舗(1-11号店)は減少傾向(67.6→64.2%、売上高では▲3.7%)にあり、これは昨秋以来顕著になっているビジネス利用の減少が響いています。景気後退によるビジネス旅行全体の縮小と周辺ビジネスホテルの値下げの影響があり、早期の回復は期待できない状況です。

2. 売上原価率のアップについて

売上の増加以上に売上原価（店舗経費）の増加が大きく、経常利益の減少を招いています。経常利益率を前年同期と比べると、オープンから満1年以上経過した店舗（1-19号店）全体では微減（17.7→16.5%）ですが、本来利益率が安定しているはずのオープンから満3年以上経過した店舗（1-11号店）で大幅な減少（18.2→14.0%）が見られます。売上高が減少（▲8,388千円、▲3.7%）し、売上原価が増加（+2,391千円、+1.3%）したためですが、広告宣伝費や印刷費（+2,530千円）や防犯委託費の増加が主要な要因です。

3. 本社損失の拡大について

前年同期に比べ、本社の経常損失が大幅に拡大（▲21,743→▲49,302千円）しています。新規出店契約にともなう企画調整費売上の大幅な減少（23,365→11,371千円）と、スタッフの増員による人件費の増加（30,126→40,549千円）および借入増にともなう支払利息の増加（1,098→3,543千円）が主要な原因です。

Ⅲ 第15期の売上高および利益の予測について

（単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております）

科目	期別 第14期通期実績 H19.7.1～ H20.6.30	第15期				
		第1四半期実績 H20.7.1～9.30	第2四半期実績 H20.10.1～12.31	第3四半期実績 H21.1.1～3.31	第4四半期予想 H21.4.1～6.30	通期予想 H20.7.1～H21.6.30
売上高	526,845	227,595	156,444	143,678	142,283	670,000
経常損益	15,316	50,330	▲16,091	▲25,698	▲42,541	▲34,000
当期純損益	10,579	49,051	▲17,369	▲26,996	▲43,686	▲39,000

第3四半期の実績は、経常損益（▲2,000→▲25,698千円）と当期純利益（▲3,500→▲26,996千円）ともに第2四半期末の予想を大幅に下回りました。

基本的な原因は、前記のとおり、店舗の客室稼働率の低下、売上原価率のアップ、本社損失の拡大によるものですが、具体的な項目としては以下のとおりです。

1. 新規出店の停滞による企画調整費売上の大幅減少。
2. 店舗の集客力をアップするための、広告宣伝や配布用パンフレット増刷費用の増額。
3. リネンサプライ費や飲食サービス関連費の値上げ。
4. 支配人待遇改善のための有給休暇拡大にともなう代行要員費用の上昇。
5. 東京都CLO融資制度利用にともなう手数料の発生。

第5項以外については当面状況が継続するため、第4四半期の損益についても下方修正が必要と見込まれます。また、建物などの賃貸借によって経営している当社の大部分の店舗において、従来賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っていましたが、監査法人との検討協議の結果、今期開業した「浜名湖店」以降の店舗については「所有権移転外ファイナンスリース取引」として今期より「リース取引に係る会計基準」および「リース取引に関する会計基準の運用方針（いずれも平成19年3月30日改正）を適用することが妥当との結論にいたりました。これにより、従来費用として「支払家賃」のみを計上していましたが、物件投資相当額を「リース資産」および「リース債務」として計上するとともに、毎月の支払額のうち投資費用の償却を超える金額は「支払利息」として費用計上することとなります。今期においては、期末決算日においてこれらの仕訳処理を行う予定ですが、利息が定額ではなく利息法によって算出されるため、今期の費用は5店舗合計で約10,000千円増加する見通しとなります。

以上により、第4四半期の予想値を含め、通期予想を上回る表のとおり下方修正しました。赤字決算の見通しとなることは誠に無念かつ申し訳ないことですが、本社経費の増加や知名度アップのための費用は中長期的に安定して事業を維持拡大していくための必須の戦略的投資であり、過渡的な状況であると確信しています。

新規店舗の急増に昨秋からのビジネス客の減少が加わり、過去2年間にわたって稼働率が前年同月を下回る状況が続いていましたが、ようやくこの4月はほぼ前年並みの水準となり底を打ちつつある状況です。

昨年から強化してきた社内管理体制をベースに、収益性の向上を図り、来期は必ず黒字計上できるよう全力を尽くす所存です。

IV 資金および借入金の状況

(1) 現金および預金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期 第 14 期第 3 四半期 H20.1.1～3.31	第 14 期第 4 四半期 H20.4.1～6.30	第 15 期第 1 四半期 H20.7.1～9.30	第 15 期第 2 四半期 H20.10.1～12.31	第 15 期第 3 四半期 H21.1.1～3.31
現金および預金の増減額	▲23,551	▲18,152	+43,858	+76,084	▲8,852
現金および預金の四半期首残高	85,692	62,141	43,989	87,847	163,932
現金および預金の四半期末残高	62,141	43,989	87,847	163,932	155,079

(2) 短期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示しております)

科目	期 第 14 期第 3 四半期 H20.1.1～3.31	第 14 期第 4 四半期 H20.4.1～6.30	第 15 期第 1 四半期 H20.7.1～9.30	第 15 期第 2 四半期 H20.10.1～12.31	第 15 期第 3 四半期 H21.1.1～3.31
短期借入金の増減額	—	—	—	—	—
短期借入金の四半期首残高	—	—	—	—	—
短期借入金の四半期末残高	—	—	—	—	—

(3) 長期借入金の増減 (単位：千円、千円未満は切り捨てて表示) 1年以内返済予定額を含みます。

科目	期 第 14 期第 3 四半期 H20.1.1～3.31	第 14 期第 4 四半期 H20.4.1～6.30	第 15 期第 1 四半期 H20.7.1～9.30	第 15 期第 2 四半期 H20.10.1～12.31	第 15 期第 3 四半期 H21.1.1～3.31
長期借入金の増減額	▲8,559	+31,472	+10,484	+83,426	+27,866
長期借入金の四半期首残高	138,425	129,865	161,337	171,821	255,247
長期借入金の四半期末残高	129,865	161,337	171,821	255,247	283,113

借入金の増加は、三井住友銀行からの新規借入れ(50,000千円、3月実行)と約定返済の差額によるものです。
なお、この借入は東京都CLO融資制度によるものです。

(4) 投資その他の資産の内訳 第 15 期第 3 四半期末 (平成 21 年 3 月 31 日) 時点 (千円未満は切り捨てて表示)

70,855 千円	… 借上直営店における差入れ保証金 (契約満了時返済)
23,750 千円	… 「軽井沢店」における建設協力金 (10 年均等償却)
3,366 千円	… 借地直営店における借地権利金 (20 年均等償却)
2,500 千円	… 長期性預金
1,210 千円	… 取引信用金庫などへの出資金
1,790 千円	… その他
合計 103,471 千円	

V 今後の事業展開と出店計画について

「奈良針店」「彦根店」がオープン

それぞれ、予定通り3月10日、4月23日にオープンしました。



「奈良針店」



「彦根店」

「桑名長島店」「寒河江店」のオープン予定日が決定

建築中の「桑名長島店」「寒河江店」のオープン予定日がそれぞれ7月11日、7月18日に決まりました。これらの店舗を加え、夏休み前には30店舗となります。

今後の出店計画

引き続き、近畿から中国地方を中心に出店を計画しています。出店契約がまとまった時点で公表いたします。

スタンプラリー好評

「ファミリーロッジ旅籠屋」を活用いただき、全国各地を訪ねる旅をもっと楽しんでいただくことを目的に、昨年12月20日よりスタートさせた「スタンプラリー」ですが、すでに1,000名を超える利用者に参加いただいています。

広告宣伝

- ・「高速家族」 ……中日本高速の無料情報誌の裏表紙。効果が高いため、継続して広告掲載中。
- ・「まっふる家族でお出かけ 関西・中部周辺」 ……裏表紙に広告掲載。3月発売。
- ・「まっふる家族でお出かけ 関東周辺」 ……表3に広告掲載。3月発売。
- ・「まっふる 東京・横浜」 ……目次対抗頁に広告掲載。3月発売。
- ・「まっふるベストドライブ 京阪神 09-10」 ……表2に広告掲載。2/20発売。
- ・「まっふるベストドライブ 関東 2010」 ……表2に広告掲載。3/10発売。

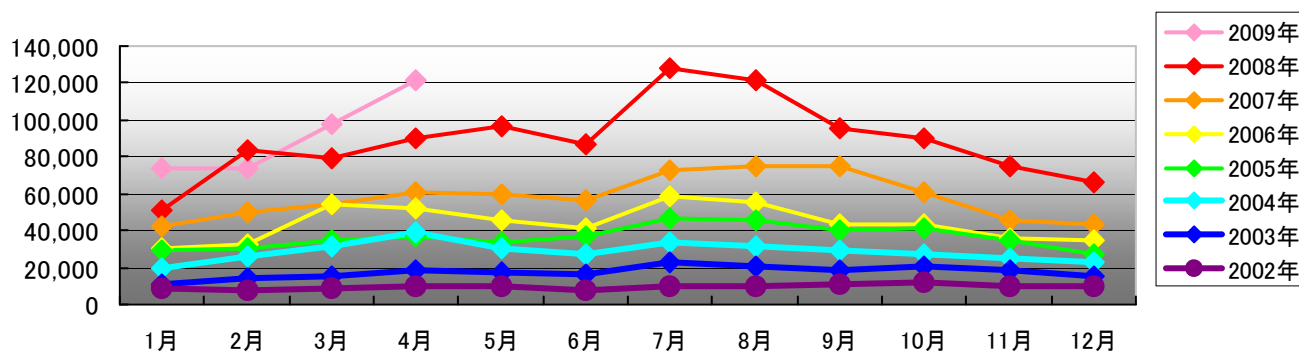
パブリシティ

- ・「週刊エコノミスト 2/24号」 ……社長インタビュー4頁掲載。

その他、高速道路料金の土日祭日1,000円の実施にともない、3月下旬からテレビを中心に「壇之浦PA店」「佐野SA店」への取材が多数行われており、ニュース番組の中で紹介されています。

なお、ホームページへのアクセス数は以下のとおり大幅に増えています。

トップページ アクセス数の推移



以上